



Raise Up “Daido Spirit”



大同メタル工業株式会社

株主のみなさまへ

第116期 報告書

2023年4月1日～2024年3月31日

証券コード 7245

CONTENTS

株主の皆様へ	1
第116回定時株主総会決議のご通知	1
連結決算ハイライト	1
営業のご報告	2
中期経営計画 Raise Up “Daido Spirit” (2018-2023) 振り返り	3
2025年3月期業績予想	5
配当について	5
TOPICS	5
事業セグメント別概要(事業内容・売上高構成比)	6
決算の状況(連結)	7
業績の推移(連結)	8
企業情報	9
会社概要/役員	9
株式事項/グローバルネットワーク(主な拠点)	10
株主メモ	11
株式に関する諸手続のご案内	11
株主優待	11



代表取締役会長兼 CEO
判治 誠吾



代表取締役社長兼 COO
古川 智充

第116回定時株主総会決議のご通知

2024年6月27日開催の当社第116回定時株主総会におきまして、下記のとおり報告並びに決議されましたので、ご通知申し上げます。

報告事項

- 第116期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
 本件は、上記の内容を報告いたしました。
- 第116期(2023年4月1日から2024年3月31日まで)計算書類報告の件
 本件は、上記の内容を報告いたしました。

決議事項

- 第1号議案 取締役8名選任の件
 - 第2号議案 補欠監査役1名選任の件
 - 第3号議案 役員賞与支給の件
- 全議案は、原案どおり承認可決されました。

連結決算ハイライト(前年度比)

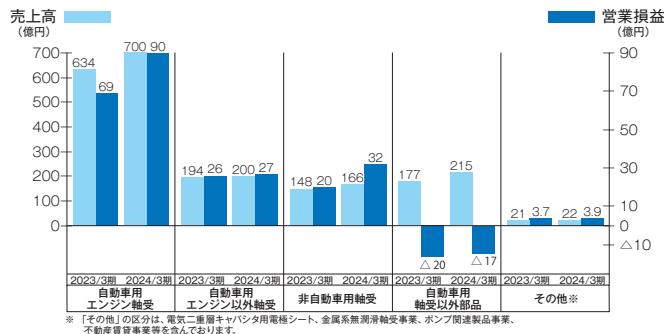
1 2024年3月期 通期連結決算概要

単位：百万円(百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入)

連結業績	【前期】 2023年 3月期通期	【当期】 2024年 3月期通期	前年度比	
			増減額	増減率
売上高	115,480	128,738	13,257	11.5%
営業利益 (営業利益率)	2,824 (2.4%)	6,084 (4.7%)	3,259 (2.3%)	115.4% -
経常利益 (経常利益率)	2,909 (2.5%)	5,825 (4.5%)	2,915 (2.0%)	100.2% -
親会社株主に帰属する 当期純損益 (純損益率)	※ △ 2,208 (△ 1.9%)	2,569 (2.0%)	4,777 (3.9%)	- -
為替レート(1USドル/円)	132.70	141.83	左記為替レートは 各期12月末TTMレート	
為替レート(1ユーロ/円)	141.47	157.12		

※ 連結子会社であるDMキャスティングテクノロジ(タイ) Co., Ltd.の固定資産減損を2023年3月期 第2四半期で計上した影響

2 セグメント別 情報 / 売上高・営業損益 (セグメント間消去前)



3 セグメント別 売上高

単位：百万円(百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入) ◎増収要因 △減収要因

セグメント	売上高構成比		増減要因ポイント項目
	2024/3 期通期	前年度比 増減額(増減率)	
自動車用エンジン軸受	53.7%	6,606 (10.4%)	◎日本：乗用車の半導体供給不足の解消や新型車の好調による大幅な受注増 △日本：トラックの東南アジア向け(インドネシア、タイなど)及び中国向け(産業機械用)の需要減退に伴う受注減 ◎欧米：半導体供給不足の解消による受注増 ◎韓国：北米でのSLUV車などの販売好調による受注増 △中国：下期で日系メーカーの需要増が見られたが、通期では受注微減
自動車用エンジン以外軸受	15.4%	584 (3.0%)	◎日本：半導体供給不足の解消による受注増 ◎欧州：需要反動に伴う受注増
非自動車用軸受	12.7%	1,838 (12.4%)	◎大型船舶：コンテナ船などの大型船の需要の高まり、中国向け開拓の継続やコロナ禍からの回復によるサービスパーツの受注増 ◎建設機械/中小型船舶/産業用発電機他：建設機械用サービスパーツは在庫調整などによる受注減となるも組付の需要は堅調、船舶用補機や発電機などに使われる中高速エンジン用軸受の受注増 ◎電力エネルギー/産業用コンプレッサー他：天然ガスなどの燃料を使用した高効率な発電機ガスタービン用軸受の好調な需要に伴う受注増
自動車用軸受以外部品	16.5%	3,784 (21.3%)	◎アルミダイカスト製品：北米向け電動自動車用部品の需要好調による受注増 ◎精密金属加工部品：日米で半導体供給不足の解消による需要の増加や北米向け電動自動車用新規部品の受注増
その他	1.7%	128 (6.0%)	◎金属系無潤滑軸受は市況の回復、開拓活動に伴う受注の増加やポンプ関連製品事業における設備投資の再開に伴う受注増
セグメント間消去		315	
全体合計		13,257 (11.5%)	

4 セグメント別 営業損益

単位：百万円(百万円未満切捨て、比率は表示単位未満四捨五入) ◎増益要因 △減益要因

セグメント	前年度比		増減要因ポイント項目
	増減額	(増減率)	
自動車用エンジン軸受	2,121	(30.5%)	◎グローバルな増収による影響
自動車用エンジン以外軸受	127	(4.8%)	◎日本：増収による影響 ◎欧州：需要反動に伴う増収による影響
非自動車用軸受	1,168	(56.0%)	◎開拓による増収や販売価格の改善による影響
自動車用軸受以外部品	374	-	◎アルミダイカスト製品：生産管理体制や工程の見直し、販売先との受注価格調整等による利益改善影響 ◎精密金属加工部品：納期対応による物流費が増加したものの、増収による影響
その他	18	(4.8%)	◎増収による影響
セグメント間消去	△ 549		
全体合計	3,259	(115.4%)	

株主・投資家の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当期(2024年3月期)における営業の概要についてご報告を申し上げます。

当連結会計年度における当社グループ全体の業績につきましては、売上高は1,287億38百万円となり、前年度比132億57百万円(+11.5%)の増収となりました。

利益面につきましては、売上高の増収影響などにより、営業利益は60億84百万円と前年度比32億59百万円(+115.4%)の増益、経常利益は58億25百万円と同29億15百万円(+100.2%)の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は25億69百万円(前年度の親会社株主に帰属する当期純損失は22億8百万円)となりました。

2018年度より開始した当社の中期経営計画は、2023年度をもちまして最終年度を迎えました。これまでの6年間を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響のほか、ウクライナ情勢の長期化に伴う原材料価格の高騰、エネルギーコストの上昇、当社グループが事業展開している国・地域における地政学的リスク、為替変動などが見られ、当社グループの売上高、利益にも複合的かつ多大な影響をもたらしました。

当社グループとしましては、3頁に詳述しております前中期経営計画に対する結果を真摯に受け止め、今後、事業環境が大きく変化する状況下において、当社グループの持続的な成長と社会貢献を実践し続けるべく、「2030年に当社グループの目指すべき姿」、「当社グループが直面する課題改善を図るための中期的なロードマップ」及び「事業環境の変化に柔軟に対処するための体制の整備」等を検討・精査し、次期中期経営計画を策定していくことが重要であると認識しております。つきましては、今年度(2024年度)は、2025年4月からスタートする次期中期経営計画を策定するための準備期間と位置付け、2025年5月頃を目途に次期中期経営計画を開示する予定です。

また、当社グループは、前中期経営計画において、「営業利益率」及び「ROE」を目標数値に掲げており、特にROEを上昇させることが経営上の最重要課題であると認識し、その実現に向けた対処策を講じてまいりました。今後につきましては、株主資本コストを上回るROEの実現を目標とし、そのための成長戦略を次期中期経営計画に盛り込むべく検討を進めてまいります。

株主・投資家の皆様におかれましては、今後も引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2024年6月

■ 売上高・営業利益推移 (2018年度～2023年度)

連結ベース		2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	(億円)	1,077	1,001	847	1,040	1,154	1,287
営業利益	(億円)	72	41	13	50	28	60
営業利益率	(%)	6.7	4.2	1.6	4.8	2.4	4.7
ROE	(%)	7.9	4.9	0.2	3.3	△ 3.6	4.0

当社グループは、2021年5月に中期経営計画の後半3年間の計画を策定した上で、目標の達成に注力してまいりました結果、自動車業界における半導体の供給不足緩和による自動車主要顧客の生産回復や船舶業界や建設機械業界における旺盛な需要に対応することにより、2023年度の売上高1,287億円(前年同期比132億円増)となり、目標(売上高

1,021億円)を達成できました。しかしながら、その一方で利益面につきましては、高騰する材料費の価格転嫁の取り組み強化等により収益の押し下げ要因の解消に努めましたが、営業利益は60億円(前年同期比32億円増)、営業利益率は4.7%(前年同期比2.3ポイント増)となり、目標(営業利益82億円、営業利益率8.0%)を達成するには至りませんでした。

総括 (6年間の環境の変化)

社会情勢

- ・コロナ禍の発生と収束等
- ・米中对立構造の激化

経済情勢

- ・歴史的な「円安」「ドル高」の進行
- ・材料費やエネルギー費の高騰
- ・長く続いたデフレマインドから脱却の兆し

事業環境

- ・EV化の進行と今後の見通しの変化

売上高

- ・コロナからの回復特需も影響し、主力事業が回復基調の中、中期経営計画最終年度を終了
- ・但し、その基調の継続は不透明

利益面

- ・売上増加効果で22年度対比では改善したが、中期経営計画策定前との比較では回復途上

事業環境の目まぐるしい変化に直面する中、長期ビジョンの策定、ビジネス変革への取り組みの開始等、将来に向けた課題解決に着手したが、その実現は24年度以降に持ち越し

■ グローバルマーケットシェア実績推移(2018年～2023年)

[暦年ベース / 当社推定値] (%)	前半3年間実績				後半3年間実績			2017年対比
	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	
	①						②	② - ①
自動車エンジン用半割	32.5	33.1	33.0	33.5	36.7	36.7	33.3	+0.8pt
ターボチャージャー用(スモールターボ)	28.0	24.0	20.5	19.6	18.4	17.9	15.4	△12.6pt
船用低速エンジン用	51.0	54.0	55.0	58.0	66.0	73.0	73.0	+22.0pt
船用・産業用中高速エンジン用	15.0	15.0	15.0	15.0	23.0	24.0	25.0	+10.0pt
ポリマー軸受	12.8	12.9	12.8	12.9	13.0	13.0	13.1	+0.3pt
回転機械用軸受(発電機タービン用)	3.7	3.7	4.6	4.9	5.6	6.3	7.4	+3.7pt

① 自動車エンジン用半割シェア

- ・ 2018年より順調にシェアの伸ばし、**2021年で初めて35%を超え、36.7%を達成**しました。
- ・ 最終年度の**2023年はトップシェアを維持したものの**、中国市場において中国ローカルメーカー(EV車含む)のシェア増により、当社のシェアが高い日系メーカーが不振であったことの影響により、**前年対比シェア減**となりました。

② 船用低速／船用・産業用中高速エンジン用シェア

- ・ 低速は2018年より順調にシェアを伸ばし、**2022年は73%を達成、2023年も同水準を維持**しました。
- ・ 中高速は中国市場の開拓強化等により、**後半3年間は前半3年間対比で+10ポイント**となりました。

次期中期経営計画に向けて

当社グループの創業来の事業基盤の強みを活かしつつ、環境の変化にチャレンジするために、23年度から開始した構造改革に向けた施策を24年度も継続実施し着実に実現してまいります。

Change

Be-Confident

Challenge

次期中期経営計画は、2030年のありたい姿を実現するための計画とすべく、策定準備を行います。

(公表予定 2025年5月)

今後の世界経済は、ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の悪化、世界的インフレの継続懸念等、先行き不透明な経営環境が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループは固定費・経費の削減、収益改善活動及び生産性の向上等に引き続き取り組んでまいります。

なお、次期連結会計年度の第2四半期(累計)及び通期の連結業績につきましては、下記のとおり見込んでおります。

❖ 第2四半期(累計)

(百万円)

連結	2024/3期 (実績)	2025/3期 (予想)	増減額	増減率
売上高	63,383	65,000	+1,616	+2.6%
営業利益 (同利益率)	2,210 (3.5%)	2,400 (3.7%)	+189	+8.6%
経常利益 (同利益率)	2,212 (3.5%)	2,300 (3.5%)	+87	+3.9%
親会社株主に帰属 する四半期純利益 (同利益率)	615 (1.0%)	1,000 (1.5%)	+384	+62.5%

❖ 通期

(百万円)

連結	2024/3期 (実績)	2025/3期 (予想)	増減額	増減率
売上高	128,738	131,000	+2,261	+1.8%
営業利益 (同利益率)	6,084 (4.7%)	6,000 (4.6%)	△84	△1.4%
経常利益 (同利益率)	5,825 (4.5%)	5,700 (4.4%)	△125	△2.2%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (同利益率)	2,569 (2.0%)	2,500 (1.9%)	△69	△2.7%

※想定為替レート：1USD/146円、1ユーロ/159円

当社は、株主の皆様へ、経営成績及び配当性向を考慮した適切な利益還元と、将来の事業展開、研究開発の拡充、経営基盤強化及び経営環境の変化などのための内部留保資金を総合的に勘案し、長期安定的な剰余金の配当水準を維持することを基本方針としております。

当期の期末配当につきましては、基本方針に基づき、2024年5月30日開催の取締役会において、通期の連結業績などを総合的に勘案した結果、1株当たり13円とすることを決定いたしました。

次期の配当につきましては、1株当たり年間15円(中間配当7円、期末配当8円)を予想いたしております。

なお、当社は、会社法第459条に基づき、9月30日及び3月31日を基準日として、取締役会の決議により剰余金の配当を行うことができる旨を定款に定めています。

	【前期】 2023/3期	【当期】 2024/3期	【次期】(予想) 2025/3期
中間	10円	2円	7円
期末	2円	13円	8円
年間	12円	15円	15円
配当性向	-	27.5%	28.3%

TOPICS

| 船舶関連での表彰 (2023年12月)

中国造船最大手の中国船舶集団(CSSC)傘下で船用機器メーカーの中船動力(CPGC)より、「重要協力パートナー」として初選出されました。

また、同時に「優秀サプライヤー」としても表彰を受けました。



海外の部品メーカーとして初めて、CPGC本社のデジタルショールームに当社ロゴが展示されました。

当社の強み

- ・自社開発のアルミニウム軸受は耐久性が高く、エンジンの効率化に寄与
- ・材料開発から生産までを一貫で行うため、エンジンメーカー等への技術サポートが可能

今後の戦略

- ・低速エンジン用軸受で世界シェア7割強の実績を訴求し、船舶や発電機に使われる中高速エンジン用軸受についても強化してまいります。

自動車用エンジン軸受

■事業内容

自動車（乗用車・トラック・レーシングカー）エンジン用軸受、二輪エンジン用軸受、エンジン補機（ターボチャージャー・バルancer機構）用軸受など。

〈主な製品〉



▲半割メタル



▲スラストワッシャー



▲ターボチャージャー用ベアリング

自動車用エンジン以外軸受

■事業内容

自動車部品（ショックアブソーバー、空調コンプレッサー、ステアリング、トランスミッション）用軸受など。

〈主な製品〉



▲ショックアブソーバー用ブッシュ



▲射出成型軸受（空調コンプレッサー用など）



▲ステアリング用ブッシュ

非自動車用軸受

■事業内容

船用低速エンジン用軸受、船用・産業用中高速エンジン用軸受、発電（水力・火力・風力）用軸受、産業用（コンプレッサー・増減速機等）軸受など。

〈主な製品〉

大型船舶用軸受



▲低速エンジン用軸受

建設機械・ 中小型船舶用軸受



▲中高速エンジン用軸受

発電用軸受



▲回転機械用軸受

自動車用軸受以外部品

■事業内容

自動車用（電動化自動車含む）アルミダイカスト製品、自動車および二輪向け精密金属加工部品（曲げパイプ製品、切削加工製品、ノックピン）など。

〈主な製品〉



▲PCUケース（パワーコントロールユニット）



▲曲げパイプ製品



▲切削加工製品

その他

■事業内容

金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、集中潤滑装置、電気二重層キャパシタ用電極シート事業など。

〈主な製品〉



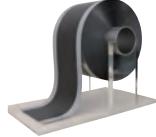
▲金属系無潤滑軸受



▲ロータリーポンプ

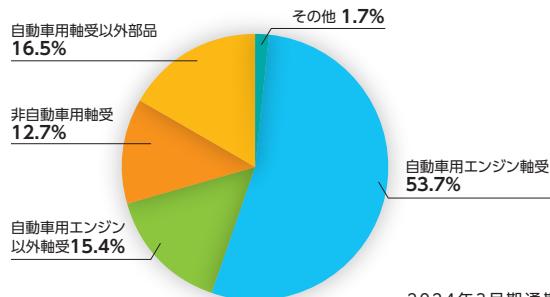


▲集中潤滑装置



▲電気二重層キャパシタ用電極シート

売上高構成比（外部売上比率）



2024年3月期通期

連結貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目		前期 (2023年3月31日)	当期 (2024年3月31日)
資産の部	流動資産	94,054	103,549
	固定資産	79,262	84,820
	有形固定資産	55,520	56,865
	無形固定資産	10,509	9,384
	投資その他の資産	13,232	18,570
	資産合計	173,317	188,369
負債の部	流動負債	68,723	74,468
	固定負債	34,140	35,179
	負債合計	102,863	109,647
純資産の部	株主資本	55,388	57,786
	資本金	8,413	8,413
	資本剰余金	13,114	13,114
	利益剰余金	34,170	36,549
	自己株式	△ 310	△ 291
	その他の包括利益累計額合計	5,748	11,033
	その他有価証券評価差額金	974	1,615
	為替換算調整勘定	4,359	6,418
	退職給付に係る調整累計額	414	2,999
	非支配株主持分	9,317	9,901
	純資産合計	70,454	78,721
負債純資産合計	173,317	188,369	

連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目	前期 (2022年4月1日～ 2023年3月31日)	当期 (2023年4月1日～ 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,003	16,655
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,345	△ 8,303
財務活動によるキャッシュ・フロー	790	△ 2,499
現金及び現金同等物に係る換算差額	637	△ 220
現金及び現金同等物の増減額	86	5,631
現金及び現金同等物の期首残高	18,868	18,955
現金及び現金同等物の期末残高	18,955	24,586

連結損益計算書

単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目	前期 (2022年4月1日～ 2023年3月31日)	当期 (2023年4月1日～ 2024年3月31日)
売上高	115,480	128,738
売上原価	89,312	97,433
売上総利益	26,167	31,304
販売費及び一般管理費	23,342	25,219
営業利益	2,824	6,084
営業外収益	1,238	1,636
営業外費用	1,153	1,895
経常利益	2,909	5,825
特別利益	-	210
特別損失	2,014	-
税金等調整前当期純利益	895	6,036
法人税、住民税及び事業税	1,750	2,688
法人税等調整額	684	△ 99
当期純利益又は当期純損失(△)	△ 1,539	3,447
非支配株主に帰属する当期純利益	668	878
親会社株主に帰属する当期純利益 又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△ 2,208	2,569

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度(2023年4月1日～2024年3月31日)

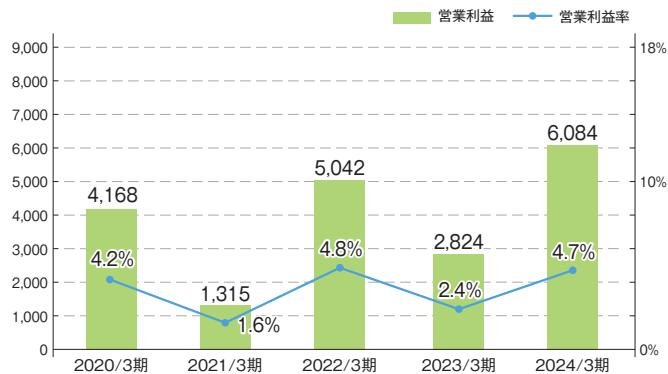
単位：百万円（百万円未満切捨て）

科目	株主資本	その他の 包括利益 累計額合計	非支配 株主持分	純資産 合計
当期首残高	55,388	5,748	9,317	70,454
当期変動額				
剰余金の配当	△ 190			△ 190
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,569			2,569
自己株式の取得	△ 0			△ 0
自己株式の処分	19			19
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)		5,285	584	5,869
当期変動額合計	2,398	5,285	584	8,267
当期末残高	57,786	11,033	9,901	78,721

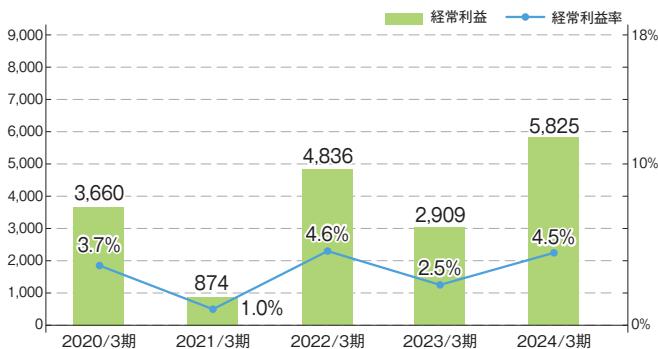
❖ 売上高



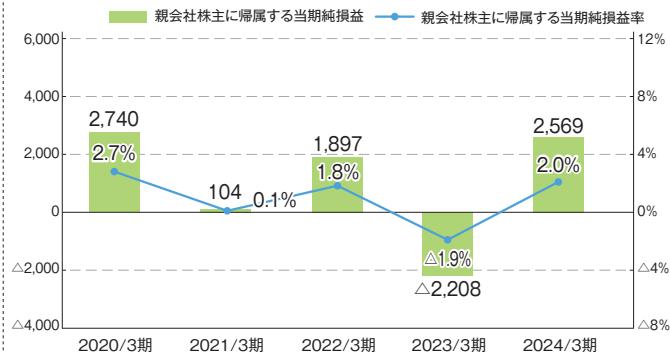
❖ 営業利益



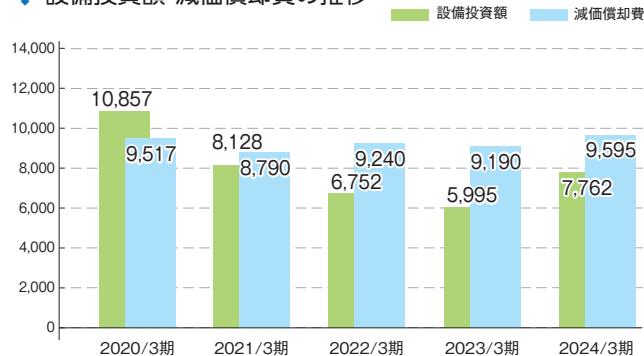
❖ 経常利益



❖ 親会社株主に帰属する当期純損益



❖ 設備投資額・減価償却費の推移



❖ 主要財務指標

	2020年 3月末	2021年 3月末	2022年 3月末	2023年 3月末	2024年 3月末	対前期末比
自己資本利益率 (ROE)	4.9%	0.2%	3.3%	△ 3.6%	4.0%	7.6P
自己資本比率	35.1%	36.3%	36.3%	35.3%	36.5%	1.2P
純有利子負債 (有利子負債－現預金)	37,211	36,462	34,110	37,825	32,424	△ 5,400

株式事項 (2024年3月31日現在)

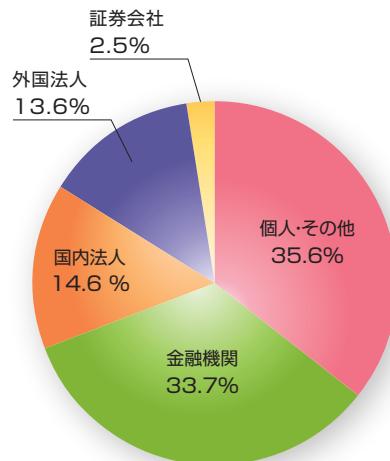
❖ 株式の状況

発行可能株式総数 80,000,000 株
 発行済株式の総数 47,520,253 株 (自己株式 2,202 株を含む)
 株主数 12,874 名

❖ 大株主

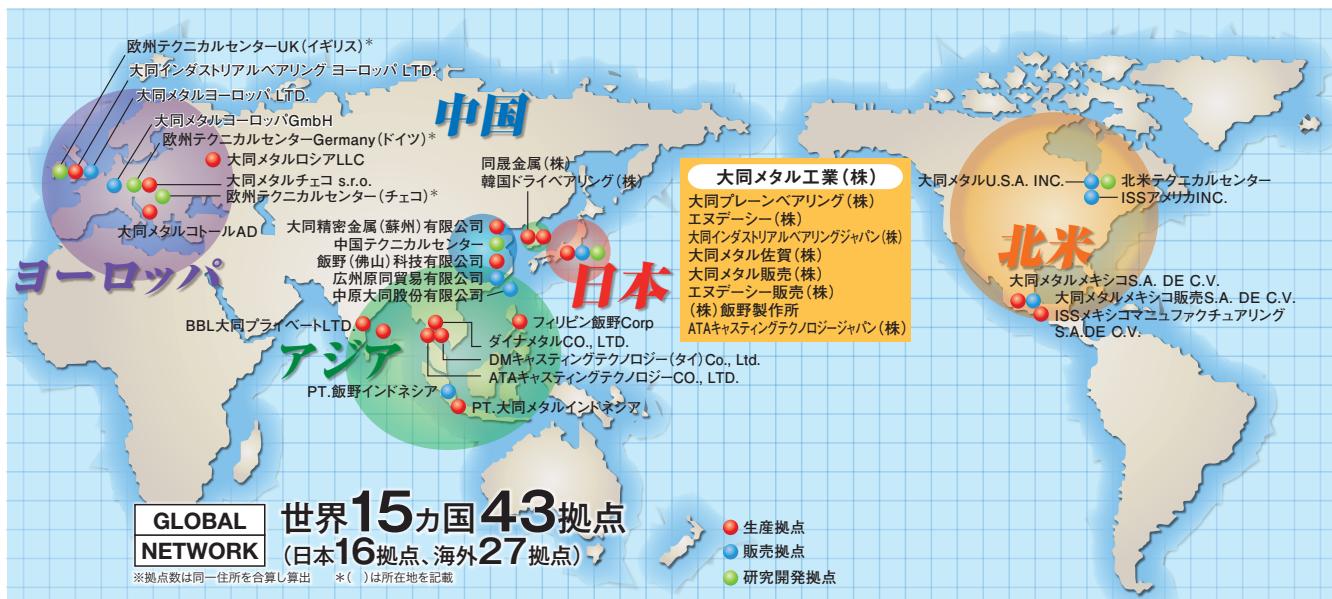
株主名	持株数(千株)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,543
三井住友信託銀行株式会社	1,978
株式会社みずほ銀行	1,977
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,949
大同メタル従業員持株会	1,882
大同メタル友栄会持株会	1,848
株式会社三菱UFJ銀行	1,822
東京海上日動火災保険株式会社	1,107
THE SERI WATHANA INDUSTRY CO.,LTD 703000	1,000
伊藤忠丸紅鉄鋼株式会社	886

❖ 所有者別株式保有状況



グローバルネットワーク(主な拠点)

(2024年3月31日現在)



事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで	株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年6月		特別口座の 口座管理機関
基準日	定時株主総会：毎年3月31日 期末配当：毎年3月31日 中間配当：毎年9月30日	郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	100株		上場証券取引所
公告方法	電子公告の方法により、当社のホームページ (https://www.ir.daidometal.com/)に掲載します。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。		

株式に関する諸手続のご案内

住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

未払配当金のお支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

三井住友信託銀行株式会社

- | | |
|---|--|
| <p>1 株式事務に関するご質問 (フリーダイヤル)
0120-782-031 [受付時間：平日 9:00～17:00]</p> | <p>2 インターネットによる株式に関する諸手続のご案内
三井住友信託銀行：https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/</p> |
|---|--|

株主優待

株主優待制度の概要

- 株主優待の対象となる株主様
毎年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された、500株以上を保有の株主様。
- 株主優待の内容
毎年3月31日現在の保有株式数と継続保有期間に応じて、クオカードを年1回贈呈。
- 株主優待の贈呈時期
対象株主様には、定時株主総会終了後の6月下旬に報告書等とともに発送いたします。

保有株式数	継続保有期間	
	3年未満	3年以上
500株以上～1,000株未満	クオカード 1,000円分	クオカード 2,000円分
1,000株以上～5,000株未満	クオカード 1,500円分	クオカード 2,500円分
5,000株以上	クオカード 2,000円分	クオカード 3,000円分

※「継続保有期間3年以上」とは、毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載又は記録され、かつ3月31日及び9月30日現在の当社株主名簿に、同一株主番号で、500株以上の保有が7回以上連続で記載又は記録された株主様といたします。

IR専用サイトURL

<https://www.ir.daidometal.com/>



大同メタル早わかり動画URL

<https://www.daidometal.com/jp/20230202-3/>



将来に関する事項につきましては、現在において当社グループが判断した一定の前提に基づいたものであります。これらの記載は実際の結果とは異なる可能性があり、その達成を保障するものではありません。

大同メタル工業株式会社



<https://www.daidometal.com/jp/>



環境に配慮した「植物油インキ」を使用しています。



適切に管理された森林で生産されたことを示す「FSC®」認証紙を使用しています。